

使用済み商用車架装物 解体マニュアル

富士車輛株式会社 共通編

- ・ 本解体マニュアルでは、当社で製造する商用車架装物の解体に関する共通的な事項を掲載しています。各機種毎の解体マニュアルを併せてご覧下さい。
- ・ このマニュアルは解体方法に関する参考資料としてご提供するもので、実際の解体作業においては各社様のご判断により作業を進めて下さい。

2004 年 4 月 1 日

本マニュアルは、当社にて製造する商用車架装物の解体に関して、『適正で効率的な作業』や『責任ある使用済み架装物処理方法』をご案内し、使用済み商用車架装物処理の各段階で適正且つ安全に処理するための手順をまとめたものです。

1. 目的

解体した商用車架装物の資源としての有効活用を効率的に行える情報を提供するものです。

2. 作業上の注意

- 1) 安全な作業を行うに当たって、定められた作業服、作業帽、安全靴を着用し、作業内容に応じて保護メガネ、耳栓、防塵マスク等の保護具を着用してください。
- 2) 高所作業については、安全帯、足場の確保等転落防止処置を講じて行ってください。
- 3) 燃料系の除去・回収に当たっては消防法を遵守し、引火・爆発が発生しない環境下および方法で行ってください。
- 4) 油脂・液材系の回収にあたっては、地下浸透や施設外流出が発生しない環境下および方法で行い関連法規を遵守してください。
- 5) タンク等の解体時は有害物質等の除去・洗浄を完全に行い、安全を確保した上で作業してください。

3. 事前選別対象部品

事前選別とは使用済み商用車架装物等に含まれる有害物質および埋立が禁止されている部品・材料等、ならびにそれらを含む部品を破碎処理する前工程で選別し、適正に保管、処分する作業をいいます。

事前選別対象部品は【別表1.】を参照願います。

4. 環境負荷物質の取り扱い

- 1) 環境負荷物質を含む部品等については、確実に分離し適正な処理に努めてください。
- 2) 環境負荷物質使用部品例
【別表2.】を参照願います。

5. FRP、断熱材、木材の解体後処理については、社団法人日本自動車車体工業会の「処理協力事業者一覧表」を参照し、適正に処理してください。

6. 具体的な解体手順につきましては、各機種 of 解体マニュアルを参照願います。
また、解体マニュアルのない機種につきましては、下記にお問合わせ願います。

富士車輛株式会社 技術本部

TEL : 077-582-8728

【別表 1.】使用済み商用車架装物の事前選別対象物の選定 (1/2)
 ——使用済み商用車架装物の事前選別対象物の除去、保管および処分方法——

処理品目	危険区分	産業廃棄物区分	Ⅰ. 代表的な除去方法例	Ⅱ. 工場内保管方法例	Ⅲ. 処分方法例
ガソリン (不純物の混入がないか 確認要)	第1石油類 (引火点 21℃未満)	該当せず (有価物として再利用)	ドレンプラグ部から抜き取る、 バキューム吸引、または、タン クに穴を開けて抜き取る	消防法指定数量内で ドラム缶等に保管	自家燃料として使用
軽油 (不純物の混入がないか 確認要)	第二石油類 (引火点 21～70℃)	該当せず (有価物として再利用)	ドレンプラグ部から抜き取る、 バキューム吸引、または、タン クに穴を開けて抜き取る	消防法指定数量内で ドラム缶等に保管	自家燃料として使用
LPG	燃料用液化石油ガス容器 (高圧ガス保安法)	該当せず (Ⅲ. 処分方法参照)	車両からボンベごと外す	残ガスの有無で保管場所 を分ける	「液化石油ガス容器くず化設備基準」に基づ く設備を有する専門業者に容器のくず化処 理委託
廃油 (デフォイル、作動油)	第四石油類 (引火点 200℃以上)	廃油	ドレンプラグ部から抜き取る。 バキューム吸引等	消防法指定数量内で ドラム缶等に保管	廃油処理業者に委託
廃液 (ブレーキフルード)	第三石油類 (引火点 70～200℃)	廃油	リザーバタンクからバキュー ム吸引等。 ホースカット等	消防法指定数量内で ドラム缶等に保管 (他液剤とは混ぜない)	廃油処理業者に委託
LLC (冷却水)	希釈液は適用外(原液 40% 越すとアルコール類)	廃油	ドレンプラグ部から抜き取る。 ホースカット等	ドラム缶等に保管 (他液剤とは混ぜない)	廃油処理業者に委託
フロンガス	該当せず	該当せず	専用回収装置で抜き取る	専用ボンベに保管	またば再生処理装置で再生処理 自動車工業会または各自治体のフロン回収 システムでの回収・処理ルートに委託
消火器	該当せず	該当せず	車両から取り出す	所定パレット内に保管	専門業者に委託
アキュムレータ	高圧ガス保安法 (1 MPa 以上)	金属くず、廃プラスチック類	タンク内の液体や窒素ガスを 大気放出	所定パレット内に保管	産業廃棄物処理業者に委託
バッテリー	該当せず	該当せず	車両から取り出す	雨水のかからない場所で 保管	蓄電池工業会のリサイクルシステムでの回 収・処理ルートに委託
銅製ラジエーター (はん だ部に鉛含有)	該当せず	金属くず	車両から取り出す	雨水のかからない場所で 保管	金属回収専門業者に委託
バッテリーケーブル端子 (鉛製端子)	該当せず	金属くず	車両から取り出す	雨水のかからない場所で 保管	金属回収専門業者に委託

【別表 1.】使用済み商用車架装物の事前選別対象物の選定 (2/2)
 ——使用済み商用車架装物の事前選別対象物の除去、保管および処分方法——

処理品目	危険区分	産業廃棄物区分	Ⅰ. 代表的な除去方法例	Ⅱ. 工場内保管方法例	Ⅲ. 処分方法例
鉛製材料・パナ	該当せず	金属くず	タイヤから取り出す	雨水のかからない場所で保管	金属回収専門業者に委託
蛍光灯・水銀灯 (水銀を含有)	該当せず	金属くず、ガラスくずおよび陶磁器くず	車両から取り出す	密閉容器に保管	専門業者に委託
ガススプリング	該当せず	該当せず	車両から取り出す	所定パレット内に保管	製造メーカーの指示に基づく処置
タイヤ	該当せず	廃プラスチック類	車両から取り出す	所定パレット内に保管	タイヤ回収専門業者に委託
樹脂 (パンパ等) 部品、 ガラス部品	該当せず	廃プラスチック類 ガラスくずおよび陶磁器くず	車両から取り出す	所定パレット内に保管	シュレッダー業者または専門回収会社 に処理委託

【別表 2.】 環境負荷物質含有事例

物 質	部 品 / 材 料	部 品 の 具 体 例
鉛	アルミニウム (加工性等向上のため添加)	ブレーキ部品、ホイール・リム、ウインドウレバー
	銅合金	パイプ継ぎ手、軸受け (ブッシュ)、ベアリング、把手、扉金具
	はんだ	スラストプレート (油圧ポンプ等)
	バランスウエイト	はんだ使用部品全般 (プリント基盤、電球端子、温度ヒューズ等)
	ホース金具	バランスウエイト
	部品の封印部分	油圧ホース金具
	温度ヒューズ	ダンプトラック自重計封印、油圧リリーフバルブ部封印 じん芥車アイドルアップ装置部封印 タンクローリの温度ヒューズ弁
六価クロム	防錆コーティング (シリンドロッドのクロムメッキは対象外)	ブレーキパイプ、ボルト・ナット・ワッシャ、ピン・シャフト、 ホース金具、接手
	カラー鋼板、カラーアルミ板	バンボデー外板
水銀	電球および計器盤表示	放電管型電球 (HID)、キセノンヘッドランプ、蛍光灯 メータ用バックライト
		カーナビディスプレイ用バックライト
	電装品	エアコンのコイルレジスタンス
カドミウム		スイッチ、リレー、アクチュエータ等の接点
	温度ヒューズ	タンクローリの温度ヒューズ弁

塵芥車 解体マニュアル

本解体マニュアルは一般的な解体例を示します。

本解体マニュアルに掲載された図は、一般的な例を示し実体と異なる場合があります。

解体作業に伴う作業上の注意事項、事前選別対象部品、環境負荷環境負荷物質の取扱い等につきましては、「使用済み商用車架装物解体マニュアル(富士車輛株式会社 共通編)」を併せてご覧下さい。

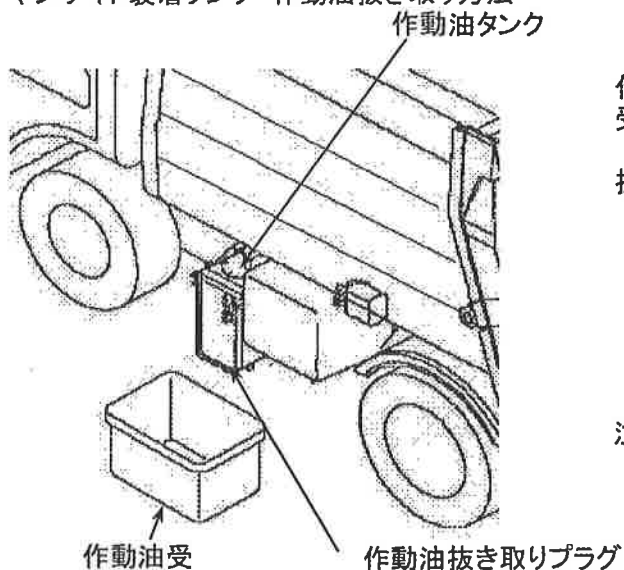
このマニュアルは解体方法に関する参考資料としてご提供するものですので、実際の解体作業においては各社様のご判断により作業を進めて下さい。

【架装物解体マニュアル内容】

- ・回転板・ダンプ式 塵芥収集車
- ・回転板・押出式 塵芥収集車
- ・圧縮板・押出式 塵芥収集車
- ・圧縮板・ダンプ式 塵芥収集車
- ・荷箱回転・ダンプ併用式 塵芥収集車

平成16年4月1日

● シャンサイド装着タンク 作動油抜き取り方法



作動油タンクの下に十分な容量の作動油受けを入れ、作動油タンクの下面にある「作動油抜き取りプラグ」を取外し作動油を抜き取って下さい。

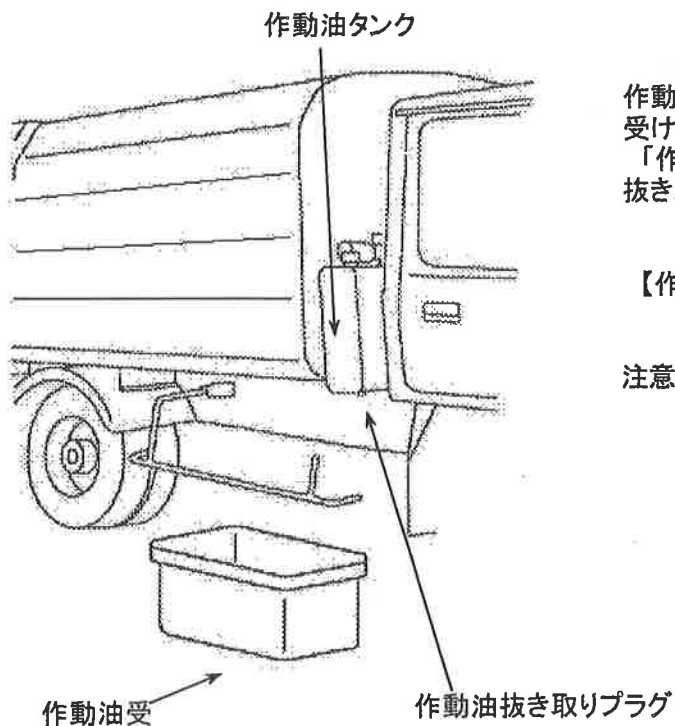
【作動油量】

2トン・3トン車 40～50L

4トン車 70～80L

注意：作動油を抜き取る際は、屋根のある所で行って下さい。

● キャブバック装着タンク 作動油抜き取り方法



作動油タンクの下に十分な容量の作動油受けを入れ、作動油タンクの下面にある「作動油抜き取りプラグ」を取外し作動油を抜き取って下さい。

【作動油量】

約50L

注意：作動油を抜き取る際は、屋根のある所で行って下さい。

（上記の作動油タンクの取付位置・作動油の量は一般的な例であり、具体的な取付位置と量は車両毎に異なる場合があります。）

回転板・ダンプ式 塵芥収集車

架装物解体マニュアル

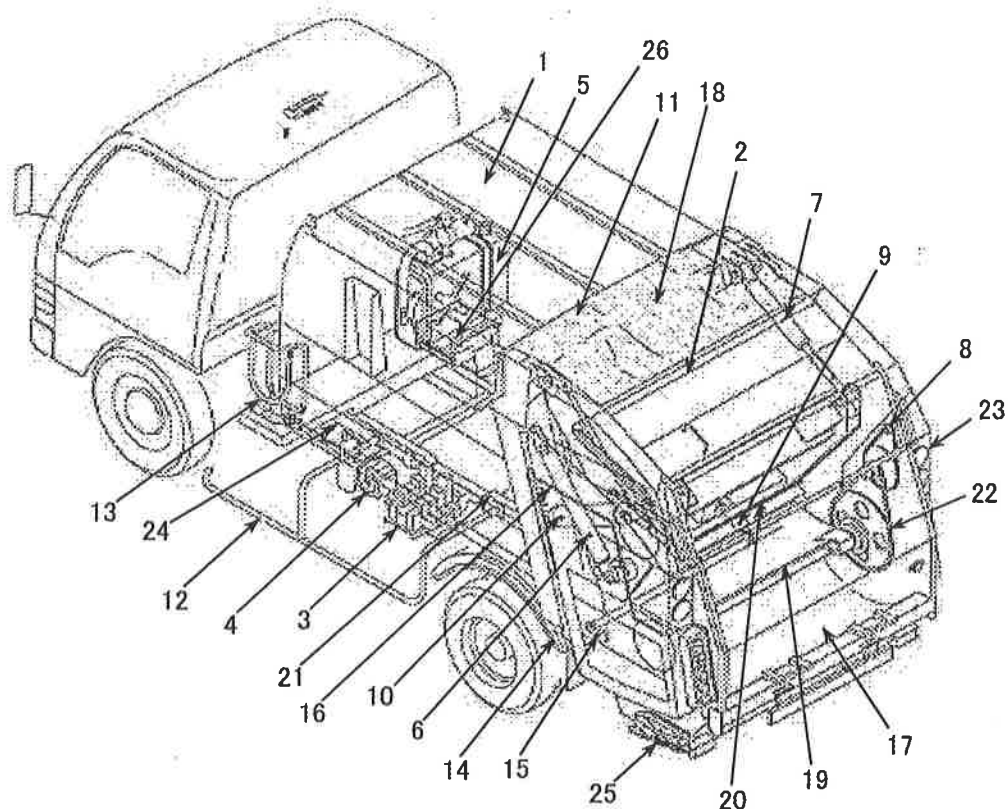
本解体マニュアルは一般的な解体例を示します。
本解体マニュアルに掲載された図は、一般的な例を示し実体と異なる場合があります。

平成16年4月1日

警告・危険事項

- 1) 挟まれる恐れがあるため、ダンプしたボデーやテールゲートの下に入り込まないで下さい。
2) 火災の恐れがあるため、可燃物の近くで溶断・切断等の作業を行わないで下さい。

品目番号	品目名	解体方法	注意事項
I	事前処理 I	ボデー・テールゲート内の積込物を廃棄し、清掃して下さい。	焼却場等の指定の場所で廃棄して下さい。
II	事前処理 II	主要な外装部品を取り外して下さい。	
III	事前処理 III	作動油タンク内の作動油を抜いて下さい。	作動油を抜き取る際は、屋根のある所で行って下さい。作動油のこぼれに注意して下さい。
1	ボデー	付属部品を取外した後、溶断、切断等により、裁断し分別して下さい。	車両からボデーを降ろす際、クレーン等を使用し安全に注意して下さい。切断フューム、粉塵等に注意して下さい。
2	テールゲート	付属部品を取外した後、溶断、切断等により、裁断し分別して下さい。	ボデーからテールゲートを外す際、クレーン等を使用し安全に注意して下さい。切断フューム、粉塵等に注意して下さい。
3	コントロールバルブ	内部残油を抜いて、金属類と樹脂類に分別して下さい。	オイルパン等を用意し、ドレン等から内部残油を抜いて下さい。作動油のこぼれに注意して下さい。
4	ポンプ	内部残油を抜いて、金属類と樹脂類に分別して下さい。	オイルパン等を用意し、ドレン等から内部残油を抜いて下さい。作動油のこぼれに注意して下さい。
5	オイルタンク	内部残油を抜いて、金属類と樹脂類に分別して下さい。	オイルパン等を用意し、ドレン等から内部残油を抜いて下さい。作動油のこぼれに注意して下さい。
6	リフトシリンダ	内部残油を抜いて、金属類と樹脂類に分別して下さい。	オイルパン等を用意し、ドレン等から内部残油を抜いて下さい。作動油のこぼれに注意して下さい。
7	プッシュシリンダ	内部残油を抜いて、金属類と樹脂類に分別して下さい。	オイルパン等を用意し、ドレン等から内部残油を抜いて下さい。作動油のこぼれに注意して下さい。
8	油圧モータ	内部残油を抜いて、金属類と樹脂類に分別して下さい。	オイルパン等を用意し、ドレン等から内部残油を抜いて下さい。作動油のこぼれに注意して下さい。
9	ロックシリンダ	内部残油を抜いて、金属類と樹脂類に分別して下さい。	オイルパン等を用意し、ドレン等から内部残油を抜いて下さい。作動油のこぼれに注意して下さい。
10	ダンプシリンダ	内部残油を抜いて、金属類と樹脂類に分別して下さい。	オイルパン等を用意し、ドレン等から内部残油を抜いて下さい。作動油のこぼれに注意して下さい。
11	パイピング	内部残油を抜いて、金属類と樹脂類に分別して下さい。	オイルパン等を用意し、ドレン等から内部残油を抜いて下さい。作動油のこぼれに注意して下さい。
12	サイドガード	溶断、切断により裁断して下さい。	
13	スペアタイヤキャリア	溶断、切断により裁断して下さい。	
14	フェンダ	溶断、切断により裁断し、材質により分別して下さい。	
15	テールゲートロック	溶断、切断により裁断して下さい。	
16	テールゲートカバー	金属類と樹脂類に分別して下さい。	
17	スライドカバー	取り外し分別して下さい。	
18	ルーフカバー	金属類とキャンバスシートに分別して下さい。	
19	回転板	溶断、切断により裁断して下さい。	
20	押込板	溶断、切断により裁断して下さい。	
21	サブフレーム	付属部品を取外した後、溶断、切断等により、裁断し分別して下さい。	
22	回転板駆動部	取り外し分別して下さい。	
23	テールランプ	金属類、ゴム類、樹脂類に分別して下さい。	
24	アクセルコントロール	金属類、ゴム類、樹脂類に分別して下さい。	
25	汚水タンクフタ	金属類とゴム類に分別して下さい。	
26	電装品	金属類と配線類、樹脂類に分別して下さい。特に制御ボックスは蓋をあけて中の部品を分別して下さい。	主配線はシャシ側にまたがって配策されている為、切り離して下さい。



〔 本名称は一般的な取付け例を示した一例であり、具体的な取付け部品は車両毎に異なる場合があります。 〕

品 目 表

番号	品目名称	番号	品目名称
1	ボデー	14	フェンダ
2	テールゲート	15	テールゲートロック
3	コントロールバルブ	16	テールゲートカバー
4	ポンプ	17	スライドカバー
5	オイルタンク	18	ルーフカバー
6	リフトシリンダ	19	回転板
7	プッシュシリンダ	20	押出板
8	油圧モータ	21	サブフレーム
9	ロックシリンダ	22	回転板駆動部
10	ダンプシリンダ	23	テールランプ
11	パイピング	24	アクセルコントロール
12	サイドガード	25	汚水タンクフタ
13	スペアタイヤキャリア	26	電装部品

回転板・押出式 塵芥収集車

架装物解体マニュアル

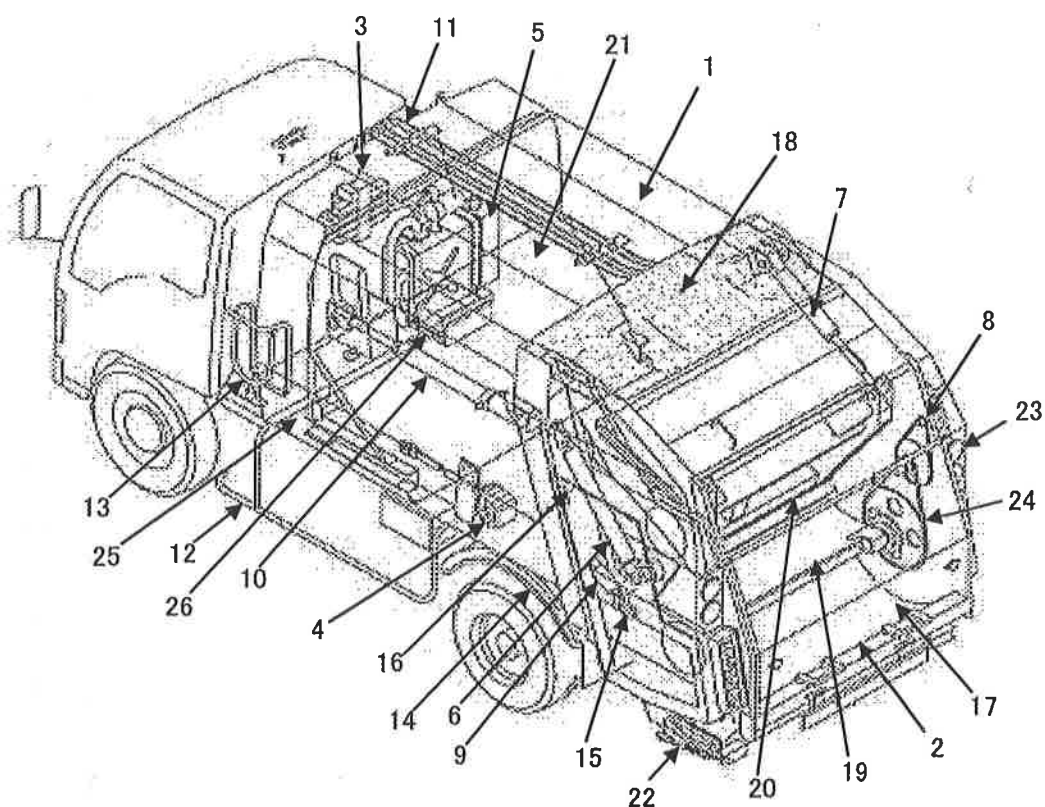
本解体マニュアルは一般的な解体例を示します。
本解体マニュアルに掲載された図は、一般的な例を示し実体と異なる場合があります。

平成16年4月1日

警告・危険事項

- 1) 挟まれる恐れがあるため、ダンプしたボデーやテールゲートの下に入り込まないで下さい。
 2) 火災の恐れがあるため、可燃物の近くで溶断・切断等の作業を行わないで下さい。

品目番号	品目名	解体方法	注意事項
I	事前処理 I	ボデー・テールゲート内の積込物を廃棄し、清掃して下さい。	焼却場等の指定の場所で廃棄して下さい。
II	事前処理 II	主要な外装部品を取り外して下さい。	
III	事前処理 III	作動油タンク内の作動油を抜いて下さい。	作動油を抜き取る際は、屋根のある所で行って下さい。作動油のこぼれに注意して下さい。
1	ボデー	付属部品を取外した後、溶断、切断等により、裁断し分別して下さい。	車両からボデーを降ろす際、クレーン等を使用し安全に注意して下さい。切断フューム、粉塵等に注意して下さい。
2	テールゲート	付属部品を取外した後、溶断、切断等により、裁断し分別して下さい。	ボデーからテールゲートを外す際、クレーン等を使用し安全に注意して下さい。切断フューム、粉塵等に注意して下さい。
3	コントロールバルブ	内部残油を抜いて、金属類と樹脂類に分別して下さい。	オイルパン等を用意し、ドレン等から内部残油を抜いて下さい。作動油のこぼれに注意して下さい。
4	ポンプ	内部残油を抜いて、金属類と樹脂類に分別して下さい。	オイルパン等を用意し、ドレン等から内部残油を抜いて下さい。作動油のこぼれに注意して下さい。
5	オイルタンク	内部残油を抜いて、金属類と樹脂類に分別して下さい。	オイルパン等を用意し、ドレン等から内部残油を抜いて下さい。作動油のこぼれに注意して下さい。
6	リフトシリンダ	内部残油を抜いて、金属類と樹脂類に分別して下さい。	オイルパン等を用意し、ドレン等から内部残油を抜いて下さい。作動油のこぼれに注意して下さい。
7	プッシュシリンダ	内部残油を抜いて、金属類と樹脂類に分別して下さい。	オイルパン等を用意し、ドレン等から内部残油を抜いて下さい。作動油のこぼれに注意して下さい。
8	油圧モータ	内部残油を抜いて、金属類と樹脂類に分別して下さい。	オイルパン等を用意し、ドレン等から内部残油を抜いて下さい。作動油のこぼれに注意して下さい。
9	ロックシリンダ	内部残油を抜いて、金属類と樹脂類に分別して下さい。	オイルパン等を用意し、ドレン等から内部残油を抜いて下さい。作動油のこぼれに注意して下さい。
10	エジェクションシリンダ	内部残油を抜いて、金属類と樹脂類に分別して下さい。	オイルパン等を用意し、ドレン等から内部残油を抜いて下さい。作動油のこぼれに注意して下さい。
11	パイピング	内部残油を抜いて、金属類と樹脂類に分別して下さい。	オイルパン等を用意し、ドレン等から内部残油を抜いて下さい。作動油のこぼれに注意して下さい。
12	サイドガード	溶断、切断により裁断して下さい。	
13	スペアタイヤキャリア	溶断、切断により裁断して下さい。	
14	フェンダ	溶断、切断により裁断し、材質により分別して下さい。	
15	テールゲートロック	溶断、切断により裁断して下さい。	
16	テールゲートカバー	金属類と樹脂類に分別して下さい。	
17	スライドカバー	取り外し分別して下さい。	
18	ルーフカバー	金属類とキャンバスシートに分別して下さい。	
19	回転板	溶断、切断により裁断して下さい。	
20	押込板	溶断、切断により裁断して下さい。	
21	エジェクションプレート	付属部品を取外した後、溶断、切断等により、裁断し分別して下さい。	
22	回転板駆動部	取り外し分別して下さい。	
23	テールランプ	金属類、ゴム類、樹脂類に分別して下さい。	
24	アクセルコントロール	金属類、ゴム類、樹脂類に分別して下さい。	
25	汚水タンクフタ	金属類とゴム類に分別して下さい。	
26	電装品	金属類と配線類、樹脂類に分別して下さい。 特に制御ボックスは蓋をあけて中の部品を分別して下さい。	主配線はシャシ側にまたがって配策されている為、切り離して下さい。



〔 本名称は一般的な取付け例を示した一例であり、具体的な取付け部品は車両毎に異なる場合があります。 〕

品 目 表

番号	品目名称	番号	品目名称
1	ボデー	14	フェンダ
2	テールゲート	15	テールゲートロック
3	コントロールバルブ	16	テールゲートカバー
4	ポンプ	17	スライドカバー
5	オイルタンク	18	ルーフカバー
6	リフトシリンダ	19	回転板
7	プッシュシリンダ	20	押出板
8	油圧モータ	21	エジェクションプレート
9	ロックシリンダ	22	汚水タンクフタ
10	エジェクションプレート	23	テールランプ
11	パイピング	24	回転板駆動部
12	サイドガード	25	アクセルコントロール
13	スペアタイヤキャリア	26	電装部品

圧縮板・押出式 塵芥収集車

架装物解体マニュアル

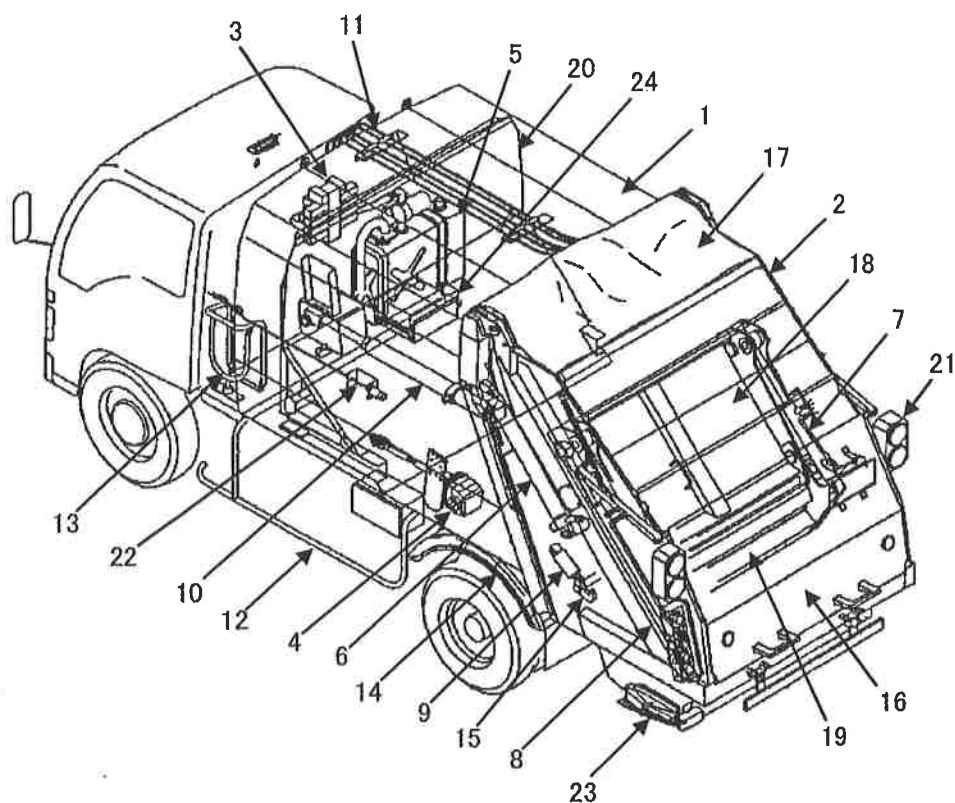
本解体マニュアルは一般的な解体例を示します。
本解体マニュアルに掲載された図は、一般的な例を示し実体と異なる場合があります。

平成16年4月1日

警告・危険事項

- 1) 挟まれる恐れがあるため、ダンブしたボデーやテールゲートの下に入り込まないで下さい。
2) 火災の恐れがあるため、可燃物の近くで溶断・切断等の作業を行わないで下さい。

品目番号	品目名	解体方法	注意事項
I	事前処理 I	ボデー・テールゲート内の積込物を廃棄し、清掃して下さい。	焼却場等の指定の場所で廃棄して下さい。
II	事前処理 II	主要な外装部品を取り外して下さい。	
III	事前処理 III	作動油タンク内の作動油を抜いて下さい。	作動油を抜き取る際は、屋根のある所で行って下さい。作動油のこぼれに注意して下さい。
1	ボデー	付属部品を取外した後、溶断、切断等により、裁断し分別して下さい。	車両からボデーを降ろす際、クレーン等を使用し安全に注意して下さい。切断フューム、粉塵等に注意して下さい。
2	テールゲート	付属部品を取外した後、溶断、切断等により、裁断し分別して下さい。	ボデーからテールゲートを外す際、クレーン等を使用し安全に注意して下さい。切断フューム、粉塵等に注意して下さい。
3	コントロールバルブ	内部残油を抜いて、金属類と樹脂類に分別して下さい。	オイルパン等を用意し、ドレン等から内部残油を抜いて下さい。作動油のこぼれに注意して下さい。
4	ポンプ	内部残油を抜いて、金属類と樹脂類に分別して下さい。	オイルパン等を用意し、ドレン等から内部残油を抜いて下さい。作動油のこぼれに注意して下さい。
5	オイルタンク	内部残油を抜いて、金属類と樹脂類に分別して下さい。	オイルパン等を用意し、ドレン等から内部残油を抜いて下さい。作動油のこぼれに注意して下さい。
6	リフトシリンダ	内部残油を抜いて、金属類と樹脂類に分別して下さい。	オイルパン等を用意し、ドレン等から内部残油を抜いて下さい。作動油のこぼれに注意して下さい。
7	プレスシリンダ	内部残油を抜いて、金属類と樹脂類に分別して下さい。	オイルパン等を用意し、ドレン等から内部残油を抜いて下さい。作動油のこぼれに注意して下さい。
8	パックシリンダ	内部残油を抜いて、金属類と樹脂類に分別して下さい。	オイルパン等を用意し、ドレン等から内部残油を抜いて下さい。作動油のこぼれに注意して下さい。
9	ロックシリンダ	内部残油を抜いて、金属類と樹脂類に分別して下さい。	オイルパン等を用意し、ドレン等から内部残油を抜いて下さい。作動油のこぼれに注意して下さい。
10	エジェクションシリンダ	内部残油を抜いて、金属類と樹脂類に分別して下さい。	オイルパン等を用意し、ドレン等から内部残油を抜いて下さい。作動油のこぼれに注意して下さい。
11	パイピング	内部残油を抜いて、金属類と樹脂類に分別して下さい。	オイルパン等を用意し、ドレン等から内部残油を抜いて下さい。作動油のこぼれに注意して下さい。
12	サイドガード	溶断、切断により裁断して下さい。	
13	スベアタイヤキャリア	溶断、切断により裁断して下さい。	
14	フェンダ	溶断、切断により裁断し、材質により分別して下さい。	
15	テールゲートロック	溶断、切断により裁断して下さい。	
16	スライドカバー	取り外し分別して下さい。	
17	ルーフカバー	金属類とキャンバスシートに分別して下さい。	
18	スライダプレート	溶断、切断により裁断して下さい。	
19	プレスプレート	溶断、切断により裁断して下さい。	
20	エジェクションプレート	付属部品を取外した後、溶断、切断等により、裁断し分別して下さい。	
21	テールランプ	金属類、ゴム類、樹脂類に分別して下さい。	
22	アクセルコントロール	金属類、ゴム類、樹脂類に分別して下さい。	
23	汚水タンクフタ	金属類とゴム類に分別して下さい。	
24	電装品	金属類と配線類、樹脂類に分別して下さい。特に制御ボックスは蓋をあけて中の部品を分別して下さい。	主配線はシャシ側にまたがって配線されている為、切り離して下さい。



（本名称は一般的な取付け例を示した一例であり、具体的な取付け部品は車両毎に異なる場合があります。）

品目表

番号	品目名称	番号	品目名称
1	ボデー	14	フェンダ
2	テールゲート	15	テールゲートロック
3	コントロールバルブ	16	スライドカバー
4	ポンプ	17	ルーフカバー
5	オイルタンク	18	スライダプレート
6	リフトシリンダ	19	プレスプレート
7	プレスシリンダ	20	エジェクションプレート
8	バックシリンダ	21	テールランプ
9	ロックシリンダ	22	アクセルコントロール
10	エジェクションシリンダ	23	汚水タンクフタ
11	パイピング	24	電装部品
12	サイドガード		
13	スペアタイヤキャリア		

圧縮板・ダンプ式 塵芥収集車

架装物解体マニュアル

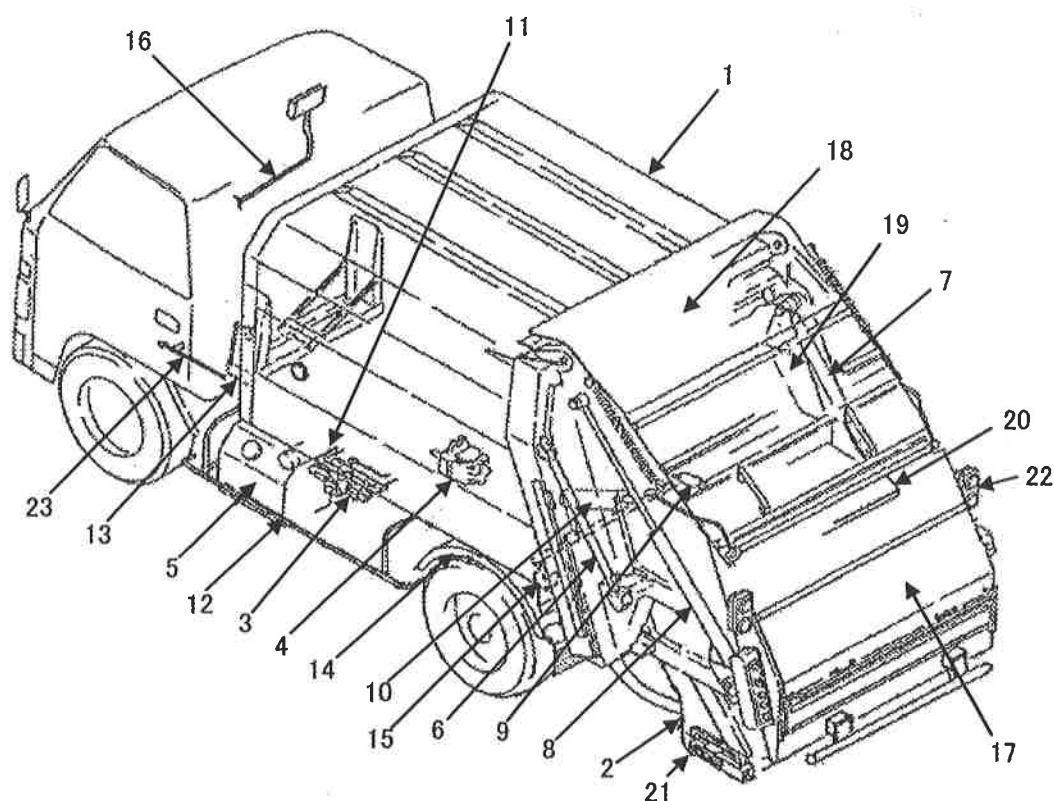
本解体マニュアルは一般的な解体例を示します。
本解体マニュアルに掲載された図は、一般的な例を示し実体と異なる場合があります。

平成16年4月1日

警告・危険事項

- 1) 挟まれる恐れがあるため、ダンプしたボデーやテールゲートの下に入り込まないで下さい。
 2) 火災の恐れがあるため、可燃物の近くで溶断・切断等の作業を行わないで下さい。

品目番号	品目名	解体方法	注意事項
I	事前処理 I	ボデー・テールゲート内の積込物を廃棄し、清掃して下さい。	焼却場等の指定の場所で廃棄して下さい。
II	事前処理 II	主要な外装部品を取り外して下さい。	
III	事前処理 III	作動油タンク内の作動油を抜いて下さい。	作動油を抜き取る際は、屋根のある所で行って下さい。作動油のこぼれに注意して下さい。
1	ボデー	付属部品を取外した後、溶断、切断等により、裁断し分別して下さい。	車両からボデーを降ろす際、クレーン等を使用し安全に注意して下さい。切断フューム、粉塵等に注意して下さい。
2	テールゲート	付属部品を取外した後、溶断、切断等により、裁断し分別して下さい。	ボデーからテールゲートを外す際、クレーン等を使用し安全に注意して下さい。切断フューム、粉塵等に注意して下さい。
3	コントロールバルブ	内部残油を抜いて、金属類と樹脂類に分別して下さい。	オイルパン等を用意し、ドレン等から内部残油を抜いて下さい。作動油のこぼれに注意して下さい。
4	ポンプ	内部残油を抜いて、金属類と樹脂類に分別して下さい。	オイルパン等を用意し、ドレン等から内部残油を抜いて下さい。作動油のこぼれに注意して下さい。
5	オイルタンク	内部残油を抜いて、金属類と樹脂類に分別して下さい。	オイルパン等を用意し、ドレン等から内部残油を抜いて下さい。作動油のこぼれに注意して下さい。
6	リフトシリンダ	内部残油を抜いて、金属類と樹脂類に分別して下さい。	オイルパン等を用意し、ドレン等から内部残油を抜いて下さい。作動油のこぼれに注意して下さい。
7	プレスシリンダ	内部残油を抜いて、金属類と樹脂類に分別して下さい。	オイルパン等を用意し、ドレン等から内部残油を抜いて下さい。作動油のこぼれに注意して下さい。
8	バックシリンダ	内部残油を抜いて、金属類と樹脂類に分別して下さい。	オイルパン等を用意し、ドレン等から内部残油を抜いて下さい。作動油のこぼれに注意して下さい。
9	ロックシリンダ	内部残油を抜いて、金属類と樹脂類に分別して下さい。	オイルパン等を用意し、ドレン等から内部残油を抜いて下さい。作動油のこぼれに注意して下さい。
10	ダンプシリンダ	内部残油を抜いて、金属類と樹脂類に分別して下さい。	オイルパン等を用意し、ドレン等から内部残油を抜いて下さい。作動油のこぼれに注意して下さい。
11	パイピング	内部残油を抜いて、金属類と樹脂類に分別して下さい。	オイルパン等を用意し、ドレン等から内部残油を抜いて下さい。作動油のこぼれに注意して下さい。
12	サイドガード	溶断、切断により裁断して下さい。	
13	スペアタイヤキャリア	溶断、切断により裁断して下さい。	
14	フェンダ	溶断、切断により裁断し、材質により分別して下さい。	
15	テールゲートロック	溶断、切断により裁断して下さい。	
16	電装品	金属類と配線類、樹脂類に分別して下さい。特に制御ボックスは蓋をあけて中の部品を分別して下さい。	主配線はシャシ側にまたがって配策されている為、切り離して下さい。
17	スライドカバー	取り外し分別して下さい。	
18	ルーフカバー	金属類とキャンバスシートに分別して下さい。	
19	スライダプレート	溶断、切断により裁断して下さい。	
20	プレスプレート	溶断、切断により裁断して下さい。	
21	汚水タンクフタ	金属類とゴム類に分別して下さい。	
22	テールランプ	金属類、ゴム類、樹脂類に分別して下さい。	
23	アクセルコントロール	金属類、ゴム類、樹脂類に分別して下さい。	



〔 本名称は一般的な取付け例を示した一例であり、具体的な取付け部品は車両毎に異なる場合があります。 〕

品 目 表

番号	品目名称	番号	品目名称
1	ボデー	13	スペアタイヤキャリア
2	テールゲート	14	フェンダ
3	コントロールバルブ	15	テールゲートロック
4	ポンプ	16	電装部品
5	オイルタンク	17	スライドカバー
6	リフトシリンダ	18	ルーフカバー
7	プレスシリンダ	19	スライドプレート
8	パックシリンダ	20	プレスプレート
9	ロックシリンダ	21	汚水タンクフタ
10	ダンプシリンダ	22	テールランプ
11	パイピング	23	アクセルコントロール
12	サイドガード		

荷箱回転・ダンプ併用式 塵芥収集車

架装物解体マニュアル

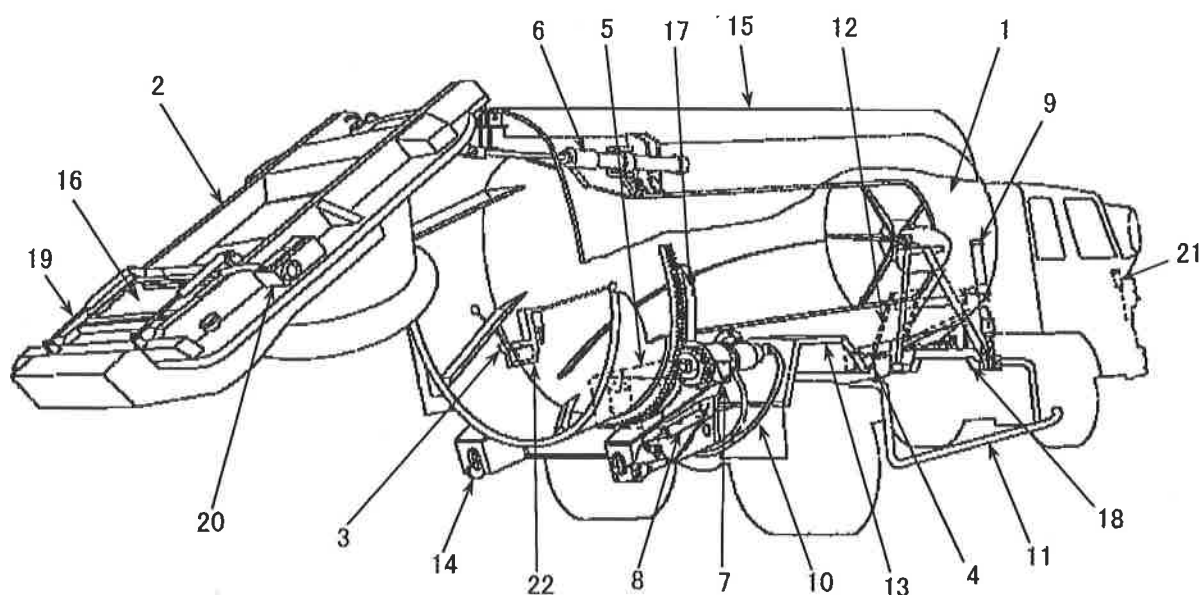
本解体マニュアルは一般的な解体例を示します。
本解体マニュアルに掲載された図は、一般的な例を示し実体と異なる場合があります。

平成16年4月1日

警告・危険事項

1) 挟まれる恐れがあるため、ダンプしたボデーやテールゲートの下に入り込まないで下
2) 火災の恐れがあるため、可燃物の近くで溶断・切断等の作業を行わないで下さい。

品目番号	品目名	解体方法	注意事項
I	事前処理 I	ボデー・テールゲート内の積込物を廃棄し、清掃して下さい。	焼却場等の指定の場所で廃棄して下さい。積込物によっては、車輛を消毒して下さい。
II	事前処理 II	主要な外装部品を取り外して下さい。	カウリング等
III	事前処理 III	作動油タンクのドレンプラグ、ポンプのサクシオンホースを外し作動油を抜いて下さい。	作動油を抜き取る際は、屋根のある所で行って下さい。作動油のこぼれ・引火に注意して下さい。
1	ボデー(ドラム本体)	付属部品を取外した後、溶断、切断等により、裁断し分別して下さい。	ボデーからテールゲートを外す際、クレーン等を使用し、安全に注意して下さい。切断フェーム、粉塵等に注意して下さい。
2	テールゲート	付属部品を取外した後、溶断、切断等により、裁断し分別して下さい。	ボデーからテールゲートを外す際、クレーン等を使用し、安全に注意して下さい。切断フェーム、粉塵等に注意して下さい。
3	コントロールバルブ	内部の残油を除去し、金属類と樹脂類に分別して下さい。	オイルパン等を用意し、ドレン等から内部残油を抜いて下さい。作動油のこぼれに注意して下さい。
4	ポンプ	内部の残油を除去し、金属類と樹脂類に分別して下さい。	オイルパン等を用意し、ドレン等から内部残油を抜いて下さい。作動油のこぼれに注意して下さい。
5	オイルタンク	内部の残油を除去し、金属類と樹脂類に分別して下さい。	オイルパン等を用意し、ドレン等から内部残油を抜いて下さい。作動油のこぼれに注意して下さい。
6	リフトシリンダ	内部の残油を除去し、金属類と樹脂類に分別して下さい。	オイルパン等を用意し、ドレン等から内部残油を抜いて下さい。作動油のこぼれに注意して下さい。
7	油圧モータ	内部の残油を除去し、金属類と樹脂類に分別して下さい。	オイルパン等を用意し、ドレン等から内部残油を抜いて下さい。作動油のこぼれに注意して下さい。
8	ロックシリンダ	内部の残油を除去し、金属類と樹脂類に分別して下さい。	オイルパン等を用意し、ドレン等から内部残油を抜いて下さい。作動油のこぼれに注意して下さい。
9	ダンプシリンダ	内部の残油を除去し、金属類と樹脂類に分別して下さい。	オイルパン等を用意し、ドレン等から内部残油を抜いて下さい。作動油のこぼれに注意して下さい。
10	パイピング	内部の残油を除去し、金属類と樹脂類に分別して下さい。	オイルパン等を用意し、ドレン等から内部残油を抜いて下さい。作動油のこぼれに注意して下さい。
11	サイドガード	溶断、切断により裁断して下さい。	
12	スベアタイヤキャリア	溶断、切断により裁断して下さい。	
13	フェンダ	溶断、切断により裁断し、材質により分別して下さい。	
14	テールゲートロック	溶断、切断により裁断して下さい。	
15	カウリング	溶断、切断により裁断し、材質により分別して下さい。	
16	ガイドテーブル	溶断、切断により裁断して下さい。	
17	ガイドリング	溶断、切断により裁断し、材質により分別して下さい。	
18	サブフレーム	溶断、切断により裁断して下さい。	
19	汚水排水ホース	金属類と樹脂類に分別して下さい。	
20	テールランプ	金属類とゴム類、樹脂類に分別して下さい。	
21	アクセルコントロール	金属類とゴム類、樹脂類に分別して下さい。	
22	電装部品	金属類と配線類、樹脂類に分別して下さい。特に制御ボックスは蓋をあけて中の部品を分別して下さい。	主配線はシャシ側にまたがって配線されている為、切り離して下さい。



〔 本名称は一般的な取付け例を示した一例であり、具体的な取付け部品は車両毎に異なる場合があります。 〕

品 目 表

番号	品目名称	番号	品目名称
1	ボデー(ドラム本体)	12	スペアタイヤキャリア
2	テールゲート	13	フェンダ
3	コントロールバルブ	14	テールゲートロック
4	ポンプ	15	カウリング
5	オイルタンク	16	ガイドテーブル
6	リフトシリンダ	17	ガイドリング
7	油圧モータ	18	サブフレーム
8	ロックシリンダ	19	汚水排水ホース
9	ダンプシリンダ	20	テールランプ
10	パイピング	21	アクセルコントロール
11	サイドガード	22	電装部品